

2020年9月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) カナダ人観光客の到着
- (2) キューバ中央銀行による発表
- (3) 国家評議会の開催
- (4) 外貨輸出入に関する官報公表

2 外交

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策に係るUNDPによる支援
- (2) 南南協力ハイレベル会合
- (3) 東アジアにおける友好協力条約(TAC)への加盟
- (4) 「新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する包括的かつ協調的対応」決議の採択
- (5) 米州開発銀行(IDB)総裁選挙結果に対する反応
- (6) キューバ・ハンガリー外交関係樹立60周年
- (7) ブラック・ソコン・カンボジア副首相兼外務大臣との会談
- (8) 感染症対策及び保健・医療体制整備のための日本による支援
- (9) 金正恩委員長発ラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル大統領宛書簡
- (10) ユネスコ・中南米諸国グループ会合
- (11) 国連創設75周年記念ハイレベル会合
- (12) ディアスカネル大統領による第75回国連総会一般討論演説
- (13) 第45回国連人権理事会会合への出席
- (14) キューバ・エスワティニ王国外交関係樹立25周年
- (15) ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体外相会合
- (16) 「ヘンリー・リーブ」医療団のノーベル平和賞候補登録
- (17) ドイツとの貿易及び外国投資の促進
- (18) キューバ・中国外交関係樹立60周年
- (19) 「新型コロナウイルス時代とその後における持続可能な開発のための2030アジェンダのファイナンスに関するハイレベル会合」出席
- (20) キューバ・フランス共産党間の意見交換
- (21) カブリサス副首相のロシア訪問
- (22) 新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

3 新型コロナウイルス

- (1) 新型コロナウイルス感染症等(※9月30日23:59時点、保健省発表)
- (2) ハバナ県における強化措置
- (3) 県をまたぐ交通機関の停止

【本文】

1 内政

(1) カナダ人観光客の到着

4日、外国人観光客用として一部の空港を再開後、初めてのカナダ人観光客が到着した。約100人の観光客はエアカナダ便にてモントリオールからハルディネス・デ・レイ空港に到着し、カヨ・ギジェルモに滞在する。9月11日にモントリオールから更に1便が到着し、9月26日にはトロントからも到着した。

(2) キューバ中央銀行による発表

10日、キューバ中央銀行は、10月1日に通貨統合が実施されるとのソーシャルメディア上の情報は真実ではなく、実施される場合には然るべきタイミングに正式に国民に発表する旨を発表した。

(3) 国家評議会の開催

24日、ビデオ会議方式で国家評議会が開催され、ミゲル・ディアスカネル大統領、マヌエル・マレーロ首相他が出席した。同評議会では、新型コロナウイルス感染症の現状及び諸措置の履行状況についての分析が行われた。

(4) 外貨輸出入に関する官報公表

25日付 Cubadebate 紙は、キューバ中央銀行が外貨輸出入に関する官報を公表した旨報じた。同官報によると、自然人による外貨の輸入は、現金、小切手、送金等に関わらず自由に行うことができるが、5000米ドル又は相当額以上を取引する場合には税関に申告する義務がある。また、5000米ドル又は相当額までであれば、現金、小切手、送金等に関わらず自由に持ち出すことが可能。それ以上の額を取引する場合には、事前申請と許可が必要となる。労働許可を有しキューバに居住する外国人で、給与を外貨で受け取る者は、銀行送金により外貨を海外に送金することが可能であるが、5000米ドル又は相当額以上の外貨を現金で持ち出す場合には、税関にてキューバ中央銀行等の許可を提示する必要がある。同措置は10月23日から実施され、遵守しない場合には罰則(税関にて没収)が科される。

2 外交

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に係るUNDPによる支援

2日、UNDPは、ペドロ・コウリ熱帯病研究所に対し、1万6千のPCR検査キットを供与した。

(2) 南南協力ハイレベル会合

10日、「国連南南協力デー」を記念してオンライン方式で開催された南南協力ハイレベル会合に、アナ・シルビア・ロドリゲス・アバスカス・キューバ国連常駐代表代理が出席した。同代表代理は、「2030アジェンダ」の達成のために、南南協力の重要性が増している旨強調し、国連の役割の重要性を確認した。また、キューバにとって南南協力は国際協力の主要な柱の一つであり、その証拠として、今年3月以降、新型コロナウイルス感染症に対抗するため、39か国に3800人以上の医療協力者を派遣している旨述べた。

(3) 東アジアにおける友好協力条約(TAC)への加盟

12日、ファン・ビン・ミン・ベトナム副首相兼外務大臣は、ASEANがキューバの東アジアにおける友好協力条約(TAC)への加盟を承認した旨発表した。同決定は、第53回ASEAN外相会合で承認された。ラテンアメリカ諸国としては、キューバの他にコロンビアの加盟も承認された。

(4) 「新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する包括的かつ協調的対応」決議の採択

12日、キューバ外務省HPは、国連総会における「新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する包括的かつ協調的対応」決議の採択に関し、国連代表部による概要以下の発表を掲載した。

ア 4か月の激しく複雑な交渉の後、9月11日、国連総会は賛成168票、反対わずか2票及び棄権2票という大多数により、本件決議を採択するに至った。米国は国際社会に反して投票を求め、孤立して投票することにより、同決議が全会一致で採択されることを妨げた。

イ キューバは、同決議採択に際し、20の代表団を代表し、国連憲章及び国際法に反する抑圧的かつ一方的な政策の解除を求める文の追加により、本件決議のメッセージをさらに強化する修正案を提出した。同修正案は、賛成84票、反対わずか13票で採択された。すべての地域の多くの代表団が、国際法及び国連憲章を侵害する一方的かつ違法である点を非難しつつ、抑圧的かつ一方的政策の解除の緊急的な必要性を強調し、投票理由説明にて修正案に賛成を表明した。

(5) 米州開発銀行（IDB）総裁選挙結果に対する反応

13日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣は、IDB総裁選挙の結果に関し、IDBにおける反キューバ政策の最も復古的な立場の人物の米国による押しつけは危険であり、我々国民への侮辱である、この人物以上に不適切な人物を探すことは困難であり、占領政策及びモンロー主義を押しつけようとして地域が分断される旨発信した。

(6) キューバ・ハンガリー外交関係樹立60周年

15日、キューバとハンガリーは外交関係樹立60周年を迎えた。1960年以降、ハイレベルの交流も盛んに行われており、政治的関係にとどまらず、文化、学術、スポーツ及び経済貿易分野における積極的な交流が行われている。

(7) ブラック・ソコン・カンボジア副首相兼外務大臣との会談

15日、リウルカ・ロドリゲス・バリオス駐カンボジア・キューバ大使は、ブラック・ソコン・カンボジア副首相兼外務大臣と会談を行った。ロドリゲス・バリオス大使は、ASEAN諸国によるキューバの東アジアにおける友好協力条約（TAC）への加盟承認に感謝を表明しつつ、キューバのTACへの加盟は、東南アジア地域とキューバの協力を深化させることを確信している旨述べた。ブラック・ソコン副首相兼外務大臣からは、中南米地域初となる新型コロナウイルス感染症ワクチンの臨床試験の進捗に対し、祝意が表明された。

(8) 感染症対策及び保健・医療体制整備のための日本による支援

16日、藤村駐キューバ日本国大使とデボラ・リバス・サアベドラ・キューバ共和国外国貿易・外国投資省次官との間で、供与額5億円の保健・医療関連機材のための無償資金協力（「経済社会開発計画」）に関する書簡の交換が行われた。保健・医療関連機材を供与することを通じて、同国の感染症対策及び保健・医療体制の強化に寄与することが期待されている。

(9) 金正恩委員長発ラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル大統領宛書簡

16日付プレンサ・ラティーナ紙は、金正恩委員長発ラウル・カストロ共産党第一書記宛書簡にて、社会主義の大義をキューバの機関及び国民が力強く推し進めていることを認識すると述べた旨発表した。同書簡は、ラウル・カストロ同第一書記が9月9日に北朝鮮建国72周年の際に送った書簡に対する返簡。金正恩委員長は、ディアスカネル大統領に対しても書簡を発出し、建国記念日への

謝辞と台風による犠牲者と被害に対するお見舞いへの謝意を表明した。

(10) ユネスコ・中南米諸国グループ会合

18日、キューバ外務省は、「教育の未来」イニシアティブに関するユネスコ・中南米諸国グループ会合（オンライン方式）に出席した旨発表した。会合にて、キューバ代表は、一方的かつ強硬な措置が、措置の対象となっている国の人々の基本的人権へのアクセスに悪影響を及ぼしている旨強調し、小島嶼開発途上国にとっては、特に気候変動に関する教育が現在及び未来の教育にとって重要である旨強調した。

(11) 国連創設75周年記念ハイレベル会合

21日、ロドリゲス外務大臣は、国連創設75周年記念ハイレベル会合において概要以下の演説を行った。

ア 国連創設75周年の今、世界の圧倒的な力により、多国間主義及び国際法は危機にさらされている。米国による無責任な行動は国際社会の平和と安全への多大な脅威である。米国は、不法かつ商業的な紛争や戦争を助長し、強硬かつ一方的で深刻な措置を課し、我々の持続可能な発展のために不可欠な資源を無駄に浪費する一方で、新型コロナウイルス拡大に起因する深刻な状況に対抗するための協力を拒否している。

イ 米国は、キューバに対する敵意を増大し、経済、貿易、金融封鎖を激化させることにより、キューバ国民の人権を組織的に侵害している。我々の医療協力及び協力を正当に要請した政府を攻撃し、他国の国民の健康への権利を制限している。

ウ 国連憲章設立から75年が経過した今、国際法の原則、多国間主義の強化及び国際機関との協力、並びに国連総会の強化は急務である。我々は、協力と連帯を強化し、民主的で公平かつ持続可能な国際規範を組成していくべきだ。

(12) ディアスカネル大統領による第75回国連総会一般討論演説

22日、ディアスカネル大統領は、第75回国連総会の一般討論演説において、概要以下の演説を行った。

ア 1つの地球規模の感染症により日常生活が一変した。国境は封鎖され、経済は縮小し、財政は逼迫した。この感染症の解決同様、全ての人々が必要とし求めていることへの対応を効果的に行うため、この必要不可欠な組織の民主化は急を要している。

イ 米国政府は特に攻撃的で倫理的に墮落しており、多国間主義を軽視し攻撃している上、世界保健機構（WHO）、ユネスコ及び人権理事会から撤退した。

気候変動に係るパリ協定から離脱し、イラン核合意を拒絶し、貿易戦争を仕掛け、軍縮に関する国際約束を終結させ、サイバー空間を軍事化し、意にそぐわない国に対する抑圧的かつ一方的政策を強化して主権政府を非正規戦争によって打倒しようとしている。

ウ 国連改革は待ったなしである。2つの世界大戦による多くの被害から生まれ、対話、交渉、協力及び国際法の重要性の普遍的な理解の結果であるこの力強い組織を実状に合わせ、民主化することにこれ以上時間をかけてはいけない。不平等で不公平かつ非民主的な国際秩序をこれ以上維持することはできない。キューバは、これまでもこの場で表明してきているように国連の民主化を一貫して支持してきている。

エ 多面的な危機は、市場主義の独裁者が必死に押しつけてきた非人道的な政策の深い誤りを明らかにした。この被害を緩和するためには、連帯と国際協力を推進することが必要不可欠である。国連だけが、開発途上国の生き残りを危うくする返済しきれない債務の削除に向けた取り組みを行う権限と能力を有している。

オ キューバでは、これまでの感染症との闘いで得た経験を活かし、新型コロナウイルス感染拡大に際しても、組織された社会主義国家という強みを踏まえ、すぐに対策が取られた。国民の保健への権利を守るのみならず、感染症に対抗することができている。米国政府による経済・貿易・金融封鎖による厳しい制裁にも関わらず、キューバはこの成果を達成した。

カ キューバの国際協力に対する名誉毀損キャンペーンを停止するよう求める。米国が国際保健機構から脱退する一方で、キューバは求めに応じて39カ国・地域に対して3,700名以上の専門家を派遣している。

キ キューバ革命の誇りの1つである科学者たちはキューバを科学者の国にすることを宣言し、治験段階にあるワクチン開発に不休で取り組んでいる。また、ワクチン開発に携わった科学者たちも含めた人材で成り立つ保健体制は、新型コロナウイルス感染者の治療法を開発し、感染者の80%が回復し、死亡率は世界及び域内平均を下回っている。キューバ革命の歴史的指導者フィデル・カストロ司令官は、「爆弾ではなく医者を」と訴えた。国連を通じ、キューバはいかなる犠牲を払っても、世界において生命を救い、キューバのありようと持てるものを共有してきており、国連には現下の厳しい情勢を踏まえた変化を求めたい。

(13) 第45回国連人権理事会会合への出席

22日、キューバ代表は、第45回国連人権理事会会合にて、公平、民主的かつ平等な国際秩序の実現を擁護するとともに、より公平な国際秩序は発展の促進及びすべての人権を保護し促進するために不可欠な要件となる旨強調した。

また、同代表は、国際秩序について議論する際に、主権国家の排他的特権事項との混同を回避することを要請した。

（１４）キューバ・エスワティニ王国外交関係樹立２５周年

２２日、キューバとエスワティニ王国は外交関係樹立２５周年を迎えた。キューバ外務省は、１９９５年の外交関係樹立以降、両国は二国間関係の多様化及び拡大のために取り組み、特に２００５年に両国間で保健分野における初の協力取決の署名以降、発展していることを強調した。

（１５）米国による追加制裁

２３日、米国は、キューバへの追加制裁として、米国居住者がキューバにおいて国営ホテルに宿泊すること、酒類・煙草を米国に持ち込むことを禁止する旨を発表した。これに対し、デياسカネル大統領はツイッターで、「帝国はキューバ国民と米国民の人権を侵害する措置を発表した。この残酷で犯罪的な政策は決して主権を放棄することはないキューバ国民によって敗れさるであろう」旨発信した。

（１６）ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体外相会合

２４日、ロドリゲス外務大臣は、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体外相会合（CELAC）にて概要以下の演説を行った。

ア 新型コロナウイルスの拡大により、ラテンアメリカ・カリブ地域では歴史上最大の不況が予測され、地域の国内総生産は９．１％減少、貧困層は新型コロナウイルス拡大前の１億８６００万人に加え、更に４５００万人近く増加、失業者は１８００万人増加すると予測されている。多国間主義と協力を促進することの緊急性は明白である。

イ このような状況において、米国は恣意的な強硬かつ一方的措置を激化させ、それらの国の発展を阻止し、感染症に対抗することを妨害し、国際法、国連憲章及びラテンアメリカ・カリブ平和地帯宣言に違反している。

ウ 米国によるキューバに対する経済、貿易及び金融封鎖は激しさを増し、キューバの持続可能な発展を妨害し、甚大な経済的及び人道的打撃を与えている。

エ ニコラス・マドゥーロ大統領に対する我々の支持を再確認する。同じく、ニカラグア政府及び国民に対する連帯を表明する。

（１７）「ヘンリー・リーブ」医療団のノーベル平和賞候補登録

２６日、キューバ外務省は、世界平和評議会（World Peace Council）が、２０２１年のノーベル平和賞候補としてキューバ人「ヘンリー・リーブ」医療団を

正式に登録した旨を発表した。ノルウェーのノーベル委員会に送付された書簡には、新型コロナウイルスが人類に与えた重大な影響及び感染拡大により最も被害を受けている人々の状況を緩和する上で、国際的な連帯から生じる必要不可欠な役割について強調し、キューバ人専門家の役割を想起した。

(18) ドイツとの貿易及び外国投資の促進

28日、キューバ外務省は、ドイツとオンライン会議を開催し、キューバ経済の優先分野における輸出と外国投資の促進について協議し、その促進のために2020年9月末から11月の間に3回のデジタル企業訪問を実施する方向で調整している旨を発表した。1件目は建設及びインフラ工業部門、2件目は再生可能エネルギー部門、3件目は廃棄物処理及びリサイクル部門を予定。

(19) キューバ・中国外交関係樹立60周年

29日、キューバ外務省は、キューバ・中国外交関係樹立60周年を祝し、キューバ政府と中国政府及びそれぞれの共産党の指導部が祝電を交わした旨を発表した。習近平国家主席宛の書簡にて、ラウル・カストロ共産党第一書記は、キューバが中南米カリブ諸国の中で中国と外交関係を結んだ初めの国であることが誇りであることを強調し、小国であるキューバに対する中国の連帯に謝意を表明した。ミゲル・ディアスカネル大統領も習近平国家主席宛に書簡を発出した。マヌエル・マレーロ首相は、李克強中国国务院総理に対し、経済関係を強化し、両国を結ぶ素晴らしい政治的関係のレベルまで引き上げていく意志を確認した。

在中国キューバ大使館では、外交関係樹立60周年記念行事が開催され、王毅國務委員兼外交部長が出席した。

(20) 「新型コロナウイルス時代とその後における持続可能な開発のための2030アジェンダのファイナンスに関するハイレベル会合」出席

29日、マレーロ首相は、第75回国連総会の機会にオンライン方式で開催された「新型コロナウイルス時代とその後における持続可能な開発のための2030アジェンダのファイナンスに関するハイレベル会合」に出席し、概要以下の演説を行った。

ア 新型コロナウイルスの拡大は、世界中の国々の健康、財政、経済、雇用及び社会に負の影響を与え、発展途上国には最も大きな打撃を与えている。世界的な危機は、国連憲章や国際法及び多国間貿易のルールに反する米国の保護貿易主義、経済戦争、主権国家に対する強硬かつ一方的な措置により悪化している。

イ 米国による60年間の経済、貿易、金融封鎖は、我々の経済及び社会の発展の主たる障害となっている。これらの措置は新型コロナウイルス拡大下におい

ても激しさを増し、医薬品や医療物資調達を妨害し、最も基本的な権利を否定している。

ウ 前例のない課題を前に、具体的かつ連带的、包括的、公平、改革的かつ強力的な措置が急務となっている。

エ 感染症拡大により悪化し発展途上国の持続可能な開発を脅かしている、途上国が抱える支払不可能な負債を削除すべきだ。

（２１）キューバ・フランス共産党間の意見交換

２９日、メルセデス・ロペス・アセア・キューバ共産党政治局員は、Fabien Roussel フランス共産党書記と意見交換を行った。双方は、両機関の歴史的な関係を強調し、新型コロナウイルス拡大やその衛生及び経済的な影響等について意見交換を行った。Roussel 共産党書記は、米国のキューバに対する経済、貿易、金融封鎖を断固として拒否する旨強調した。

（２２）カブリサス副首相のロシア訪問

２４日から約１週間、リカルド・カブリサス副首相はロシアを訪問した。訪問中、政府高官、議会、閣僚や各機関の長及び企業等、３０以上の会合を持った。

２８日にはセルゲイ・ラブロフ・ロシア外務大臣と会談した。ラブロフ外務大臣は、同訪問は、戦勝７５周年、キューバ・ロシア外交関係樹立６０周年及びキューバ・ロシア合同の初のスペースシャトル飛行から４０周年という両国にとって重要な節目に行われたことを確認した。会談中、両者は、多国間主義、国際法及び国連憲章の原則、並びに二国間協力を擁護していくことを再確認した。ラブロフ外務大臣は、封鎖と闘うキューバに対する支援を改めて表明し、共通の関心分野において協力していくことを確約した。

（２３）新型コロナウイルス感染症対策のための諸外国へのキューバ人医療団の派遣

キューバ政府の発表によると、９月末時点でのキューバ人医療団の派遣先国は以下のとおり（すでにキューバに帰国している医療団も含む）。これまで累計３７００名以上が３９か国に派遣されている。

- ・ 英国領アンギラ
- ・ 仏領マルティニーク
- ・ 英国領バージン諸島
- ・ 英国領モンセラット
- ・ アンティグア・バーブーダ
- ・ グレナダ

- ・ セントルシア
- ・ セントクリストファー・ネービス
- ・ セントビンセント及びグレナディーン諸島
- ・ バルバドス
- ・ ドミニカ
- ・ トリニダード・トバゴ
- ・ ハイチ
- ・ 英国領タークス・カイコス諸島
- ・ ジャマイカ
- ・ ベリーズ
- ・ スリナム
- ・ メキシコ
- ・ ホンジュラス
- ・ ニカラグア
- ・ ベネズエラ
- ・ ペルー
- ・ トーゴ
- ・ 赤道ギニア
- ・ エスワティニ王国
- ・ 南アフリカ
- ・ アンゴラ
- ・ サントメ・プリンシペ
- ・ カーボベルデ
- ・ ケニア
- ・ ギニア共和国
- ・ ギニア・ビサウ
- ・ シエラ・レオネ
- ・ アンドラ
- ・ イタリア
- ・ アゼルバイジャン
- ・ カタール
- ・ クウェート

3 新型コロナウイルス

(1) 新型コロナウイルス感染症等(※9月30日23:59時点、保健省発表)

ア 感染者数累計：5670名

イ 死亡者数：１２２名
ウ 退院数：４９２２名
エ 国外搬送者数：２名
オ 入院中：６２４名（うち、重篤７名、危篤２名）

（２）ハバナ県における強化措置

ア １１日、キューバ政府は、国営放送「メサ・レドンダ」にて、９月１日から実施されているハバナ県での規制強化について、各種防疫措置を強化の上で、９月末まで措置の実施を延長する旨発表した。

イ ３０日、キューバ政府は、国営放送「メサ・レドンダ」にて、１０月１日以降のハバナ県における措置について概要以下のとおり発表した。なお、ハバナ県の感染段階は「限定的国内感染段階」が維持された。

- ・午後７時から翌朝５時までの外出禁止や個人所有の自動車・バイク等による移動制限を解除。

- ・居住する市以外の店舗での購入禁止措置を解除。

- ・商店における食料・衛生用品のみに限った販売制限を解除。店舗の営業時間の通常化。

- ・商業活動、国営・民間サービス業に関し、バー、ディスコ、パーティ施設等を除いて再開（ただし、定員の５０％まで）

- ・１０月３日から公共交通機関の運行再開（立っている乗客は８０％まで）

- ・２０２０－２１年度の新学期は１１月２日開始を想定。

- ・ハバナ県への出入りは引き続き禁止。

- ・マスク着用、ソーシャルディスタンスの維持、呼吸器系の症状がある者は直ちに医療機関にかかること等の義務は継続。

（３）県をまたぐ交通機関の停止

１２日、グランマ紙は、政府対策会合にて、１３日０時からキューバ全土にて県をまたぐ交通機関の停止を決定した旨発表した。